

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	フリー・ウィル・インフィニティー		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		2026年2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、情報伝達等、環境上の配慮が適切にされている。	刺激の少ないシンプルな室内空間にしている。	継続していく。
2	子どもたちの表面的な課題行動だけではなく、なぜ課題となる行動をとってしまうのか？姿勢や手指の使い方、集中できない要素の有無等、身体的な要因の有無から掘り下げ課題行動となる原因を改善するよう支援している。	子どもたちの学習や遊びの場面において、安全確保だけではなく、体の動かし方や人との関わり方、コミュニケーションにおける言葉の選び方、相手の言葉の受け取り方等安全確保以外に子どもたちの本質を観察し、スタッフや保護者様と情報を共有するよう留意しています。	知り得た情報をもとに話し合い、改善すべき点や、改善するともっと楽しく過ごせるようになる等、常に改善に向けて意識できるよう心掛けていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域のイベントに参加することや子どもと関わる機会が少なかった。	地域のイベントが営業時間外に開催していることが多く、参加できなかった。	イベントの模索範囲を広げる。
2	保護者同士の交流機会が作られていないこと	保護者同士の交流の場や保護者会を行う機会を作れていない	保護者様がどのような形で交流会を望んでいるのか意見を聞き参考にする。
3			

公表 等からの事業所評価の集計結果

事業所名	フリー・ウィル・インフィニティー
------	------------------

公表日 年月日 令和8年3月14日

利用児童数 年月日 14人

回収数 16人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	1	0	1		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思	11	3	0	0	・とても分かりやすく配慮されている。 ・いつも丁寧である。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。	13	1	0	0	居心地よく安心して過ごせている。	
適切 な支 援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援	14	0	0	0	スタッフ皆さんで共通理解している。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合	14	0	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分	14	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの	13	1	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思	14	0	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会	5	1	3	5		ご希望を伺い検討していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ	14	2	0	1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされ	14	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング	5	0	4	5		ライフステージに応じた情報提供や講演 会が行えるとより良いと思いますので、 今後も検討していきます。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況に	14	0	0	0	様々な状況に応じて対応しており共有で きている。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	0	1	0	安心して相談できる。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	0	0	0	良い職員さんばかりである。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流	2	3	6	3		きょうだい児支援、イベントの開催等、 不十分な点もあるため今後の検討課題と させていただきます。
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されてい	14	0	0	0	とても相談しやすく家族も安心してお 願いできる。		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると	14	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制	13	1	0	0	通信を楽しみにしている。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニユア	12	2	0	0		研修や訓練は、安全計画の中ですべての研修や訓練を計画し、実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓	9	0	0	5		研修や訓練は、安全計画の中ですべての研修や訓練を計画し、実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、	12	0	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事	13	0	0	1	体験がないのでわからない。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13	1	0	0	安らげて落ち着ける場所となっている。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	1	0	0	言葉やコミュニケーションが増えた。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	0	0	0	対応力が素晴らしい。	

公表 所における自己評価結果

事業所名		フリー・ウィル・インフィニティー		公表日 46095		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8				
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。	8		より充実した支援が行えるよう、専門のスタッフの増員を図っていく。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、	8		予定などを確認してもらい本日の行動をイメージしてもらう。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められ	8				
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、	8				
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて	8				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につ	8		何か気になる点があったら、すぐに相談できる環境がある		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8		今後の課題として検討していく。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研	5	3		今後は定期的に行っていく。	
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8				
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者の	8				
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任	8				
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援カ	8			・バタバタして打ち合わせできないことがある。事前に打ち合わせする。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマル	8				
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライン	8				
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8				
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の内	8			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につ	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定	8			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係	8			担当者会議では学校との情報交換をしているが、医療、福祉との連携も行っていけるよう、方法を検討していく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻	8			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援	8			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	8	児童発達支援センターとの連携は対象者の年齢もあるせいか行われていない。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9	9	現在は行っていない。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	4		要請があれば参加していく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	6		家庭によって必要と判断した場合は連絡などを多くとるなどしている
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士	8	現在保護者の方同士、きょうだい同士でのコミュニティをこちらが用意することは行っていない。	今後は検討していく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより	8		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	地域の方を招待する行事は行えていない。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染	8	緊急対応マニュアル、感染症マニュアルの研修を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、	8	BCPを作成しており、訓練等も実施している。	今後様々なことを想定した訓練を検討し実施していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認して	8		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応が	8		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置	8	安全計画を実施作成している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計	8		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検	8		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をし	8		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決	8			